

大会名 Competition	第23回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-102	Year Month Day Time 2010 年 5 月 3 日 10 : 36
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B
延岡学園	( 19 1st 21 26 2nd 16 21 3rd 26 14 4th 22 OT )	市立船橋
80 ●		85 ○

主審:Referee 北沢 岳夫 岩手県  
副審:Umpire 小野寺 浩 秋田県  
テーブル・オフィシャルズ:Table officials 能代工業

No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	/	甲斐 慶彦	CAP	0	0	0	0	0	4	×	平良 彰大	CAP	13	1	4	2	3
5	×	エリマン プイ		22	0	9	4	1	5	×	山田 侑樹		16	0	5	6	4
6		大和 倫矩		-	-	-	-	0	6	×	出羽 峻一		14	2	4	0	4
7	×	黒木 亮		12	0	5	2	2	7	/	濱田 拓也		9	0	1	7	1
8	/	脇坂 恭輔		0	0	0	0	0	8	×	貝沼 雄介		16	4	2	0	1
9		西口 直哉		-	-	-	-	0	9	×	中島 卓也		13	3	2	0	2
10	/	山田 省吾		0	0	0	0	0	10	/	根本 奨		0	0	0	0	2
11	×	岩田 大輝		7	1	2	0	5	11		小川 真司		-	-	-	-	0
12	×	寺原 拓史		12	2	3	0	1	12		佐藤 豪		-	-	-	-	0
13	/	岡本 飛竜		1	0	0	1	0	13		佐久間 大翔		-	-	-	-	0
14	×	ベンドラメ 礼生		14	1	5	1	2	14		清水 礼		-	-	-	-	0
15	/	エルバジ・アッサン ジョ		6	0	3	0	1	15	/	品川 剛		0	0	0	0	0
16	/	田中 駿也		0	0	0	0	3	16	/	西鶴 大輔		0	0	0	0	2
17	/	善家 耕太郎		2	0	1	0	0	17	/	古牧 昌也		4	0	0	4	0
18	/	平岡 大志		4	0	2	0	1	18	/	石井 竜也		0	0	0	0	0
コーチ		北郷 純一郎							コーチ		近藤 義行						
アコチ		丸岡 英文							アコチ		井上 知徳						
合計				80	4	30	8	16	合計				85	10	18	19	19

※×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率\* イントシュート 2P:2P率\* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q、延岡学園2-3ゾーン、市立船橋3-2ゾーンで試合が始まった。立ち上がり、延岡#7黒木のインサイドシュートで先制する。延岡は長身を生かした攻撃で#14ベンドラメのレイアップ、#5エリマンのゴール下で得点を重ねる。対する市立船橋は#6出羽のオフェンスリバウンドからのタップシュートや#8貝沼の連続3Pで応戦する。その後両チームともにミスが続き膠着状態となるが、市立船橋は#6出羽が次々とオフェンスリバウンドをもぎ取り、そこから#8貝沼の3Pなど得点に繋がる活躍を見せる。対する延岡も#12寺原の3Pで応戦するが、19-21市立船橋2点リードで1Qを終了。

第2Q、延岡は#11岩田のジャンプシュートで同点とすると、#5エリマンのゴール下や#12寺原のオフェンスリバウンドからのレイアップなど、高さを主体とする攻撃を見せる。対する市立船橋は#6出羽、#9中島、#4平良、の3Pで得点し、両チームともにチームカラーを生かしたオフェンスで一進一退の攻防が続き45-37と延岡学園が8点リードし前半を終了する。

第3Q、#15エルバジのゴール下や#7黒木のインサイド、さらには#17善家のターンシュートで確実に得点を重ねさらに引き離しにかかるが、市立船橋は#8貝沼の3Pや#6出羽のオフェンスリバウンドからのレイアップで食い下がる。その後両チームともになかなかシュートを決めることが出来ずにいたが、市立船橋は残り1分というところで#9中島が3Pを決める。さらに終了間際にも同選手がブザービーターで3Pを決める活躍で点差を縮め、63-66延岡3点リードで3Qを終了する。

第4Q、延岡は#5エリマンのゴール下などで着実に加点する。市立船橋はゴール下までボールを運んでいくものの攻めきることが出来ず、次第に攻撃のリズムを崩しそうになるが、激しいディフェンスから流れを変えようとする。残り3分77-72というところで市立船橋はタイムアウトを取りオールコート2-2-1ゾーンディフェンスで勝負を仕掛けるがこれが面白いように決まり、延岡はターンオーバーを連発する。市立船橋は#5山田のジャンプシュート、#7濱田のオフェンスリバウンドからのバスケットカウントショットで1点差とすると#7濱田のフリースローでついに逆転に成功する。これで焦った延岡はシュートにすら持って行くことで出来ずミスを重ねる。市立船橋はその後も#4平良のフリースローで加点し、結局80-85で市立船橋が逆転勝利を収めた。